



Sendai Gojyo Lions Club

60th Anniversary

ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区第1R・第1Z

仙台五城ライオンズクラブ

2025.2.15 (土)

ホテルメトロポリタン仙台

4階 千代の間



認定状

仙台五城ライオンズクラブは、
 仙台ライオンズクラブ、仙台中央ライオンズクラブのスポンサーにより
 1963年（昭和38年）11月15日、
 日本レベルで663番目に結成された。
 翌1964年10月9日、46名のチャーターメンバーで認証を受け、
 2024年（令和6年）10月満60年となりました。



仙台五城ライオンズクラブの系譜



仙台五城ライオンズクラブ認証式

仙台五城ライオンズクラブ

結成式 1963.11.15

伝達式・認証式 1964.10.9

スポンサークラブ

仙台ライオンズクラブ

姉妹友好クラブ

東京新宿トライスターライオンズクラブ

※旧東京新宿東ライオンズクラブ 1973.8.9

エクステンションクラブ

名取 LC1968.7.24

仙台宮城野 LC1970.1.28

仙台いずみ LC1971.10.2

亘理 LC1971.11.26

岩沼 LC1973.1.20

仙台東 LC1976.4.11

仙台みちのく LC1979.3.11

仙台 ZUNDAガールズ支部 2024.7.1



名取ライオンズクラブ結成式



姉妹友好クラブ調印式



亘理ライオンズクラブ結成式



仙台いずみライオンズクラブ結成式



岩沼ライオンズクラブ結成式

CN60周年記念大会 挨拶



CN60周年記念大会
大会会長

L 豊口 寿郎

立春も過ぎ、これから春にむかって季節がすすんでいるこの日に仙台五城ライオンズクラブはCN60周年記念式典を開催することができました。これはひとえに332-C地区ガバナーはじめキャビネット事務局、地区内クラブの皆様、姉妹クラブの皆様、家族の皆様、そして仙台五城ライオンズクラブをここまで築き上げた先輩がたのおかげです。心より感謝申し上げます。

仙台五城ライオンズクラブは1963年11月に結成され、60年間様々な形で奉仕活動をおこなってまいりました。中でも県内の高校生へ返済不要の奨学金支給は1986年から始まり、支給した生徒は48名。総支給額は約2835万円にもなります。奨学金支給を受けた生徒からのお礼の手紙をいただくことが、我々の励みになり、ここまで続けることができました。

CN60周年の大会コンセプトは「歴史を刻む60年、広げよう五城の和」といたしました。最後の「和」は五城から多くの方への和を広げるという意味を含みます。今回の記念事業としては3つの事業をおこないました。一つ目は宮城県日本赤十字血液センター様へ広報車となる車を一台贈呈。二つ目は公益財団法人東北大学アイバンク様への献金。3つ目は宮城県警察犬育成会様への献金。いずれも60周年にふさわしいものだとかlub員一同自負しております。

今年度の会長スローガンは「対話と尊重で次なるステージへ」とし例会での対話を大事にし、意見を尊重して聞き入れることをおこなっております。ここ数年、新しい仲間が増えクラブも活気づいております。特に女性会員の比率が高くなったことは喜ばしいことであり、クラブの発展につながっていると考えております。60周年は新たなスタート地点です。そして奉仕の精神は不滅です。これからも時代のニーズに対応しつつ進化してまいります。皆様には今後共一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。挨拶と致します。



CN60周年記念大会
大会実行委員長

L 門馬 吉蔵

このたび、仙台五城ライオンズクラブが創立60周年を迎えるにあたり、記念大会を開催できますことは、ひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

1963年11月に結成された我がクラブは、地域社会への奉仕を理念とし、先輩会員の情熱と努力により数多くの活動を行ってまいりました。その伝統と実績を引き継ぎつつ、新しい時代の課題に対応し、さらに意義ある奉仕を実現していく決意を新たにしております。

本大会は、過去60年の歩みを振り返るとともに、未来への新たな一歩を踏み出す契機となるものでございます。この記念誌を通じて、我々の活動の歴史をご覧いただき、クラブの一員としての誇りと使命を再確認していただければ幸いです。

最後になりますが、本記念大会の開催に際し、多大なるご協力をいただきました関係各位に、改めて深く感謝申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

CN60周年記念大会 祝辞



ライオンズクラブ
国際会長

ファブリシオ・オリベイラ

ライオンズクラブ会員の皆様

貴クラブが60周年記念日を迎えられましたことを心から嬉しく思います。

クラブ周年記念は、これまでクラブが成し遂げてきた素晴らしい功績を振り返り、これからの新たな奉仕活動の機会に目を向ける良い機会です。思いやりの輪を広げようという皆さんの思いが、仙台五城ライオンズクラブをコミュニティの中で欠かせない重要な存在にするとともに、ライオンズ・インターナショナルが一世紀以上にわたって奉仕活動のグローバル・リーダーであり続けてきた原動力だと私は思います。

皆さんのクラブは、変化は私たち一人一人から始まるということを理解した、思いやりある人々により結成されました。チャーター会員が築いたものを引き継いで奉仕を続け、さらに皆さんの活動がこの先も成長を続け、発展し、必要とされている思いやりを世界に届け続けることができるよう、ぜひ、新たな会員を迎える努力を続けてください。

奉仕活動をするたびに、皆さんの足跡はかかわった人々に、地域に、そして共に生きるこの世界にのこされていくのです。そして皆さんのおかげで、私たちはこの世界をより良い場所にしていけることができます。

改めまして、クラブ周年おめでとうございます。さらにこれから何年も、奉仕を続けてくださることを心から期待しております。

奉仕の心で



ライオンズクラブ国際協会
国際理事

仙台五城ライオンズクラブ様の結成60周年、誠にありがとうございます。皆様が60年もの間、思いやりを行動に移し、青少年健全育成の支援をはじめ様々な地域のニーズに貢献し、人々の生活の向上に向けてご尽力されてきたことに、心から敬意を表し感謝申し上げます。

皆様の熱意と奉仕の精神は、多くの人々の生活に希望と喜びをもたらし、地域社会全体の発展に貢献してきました。今や地域に不可欠な存在となっており、皆様のクラブが築いてきた功績は計り知れません。

60周年の節目は、人であれば還暦であり、過去の功績を称えつつ未来への更なる飛躍へ向けて、創立時のように新たなビジョンを描く時です。そして、地域の更なる発展と繁栄のために、皆様が協力し努力し続けることが、ライオンズクラブの使命を更に高め、より多くの人々の生活に影響を与えることになるでしょう。

ライオンズクラブのモットーは「We Serve」です。そして、オリベイラ国際会長は、奉仕の「足跡をしるせ」とメッセージを発信しています。

私たち一人ひとりが小さな奉仕を行い、その愛情と思いやりの結集によって地域社会を変えることができます。地域社会を照らす「希望の光」となり、未来への新たな道を切り開き、より良い社会を築くために、これからも皆様のご支援とご協力を必要としています。

仙台五城ライオンズクラブ様が更なる成功と繁栄の道を歩み、多くの足跡をしるすことを心から願っております。そして、皆様のご健康でますますご活躍されますことをご祈念申し上げて、お祝いの言葉とさせていただきます。

CN60周年記念大会 祝辞



ライオンズクラブ国際協会
元国際理事

Ｌ 安澤 莊一

本日この佳き日に仙台五城ライオンズクラブ・チャーターナイト 60 周年記念式典が、多くのご来賓ご臨席の下、盛大に開催されますこと誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

貴クラブは仙台ライオンズクラブの熱い友情の呼び掛けにより 1963 年 11 月 15 日に結成され翌年 1964 年 4 月 9 日に認証されました。

以来初代会長より第 60 代豊口寿郎会長まで崇高なライオニズムの理念に基づき、友愛と相互理解の精神を培いながら地域に根差した奉仕活動は地域社会の多くの人々から高く評価されております。

そして青少年健全育成事業、福祉事業、環境保全事業等幅広い分野に取り組まれ数々の功績は会員の誇りと無形の財産であると敬意を表する次第であります。

また、仙台五城ライオンズクラブは田畑英伍 L・渡邊俊弥 L のお二人をライオンズクラブ国際協会 332-C 地区のガバナーとして輩出された地区内の名門クラブであります。

一口に 60 周年と言いますが、人間でいえば還暦であります。所謂原点回帰であります。よく 10 年一昔と言われますが、長い年月の一区切りが 10 年です。そういう観点から仙台五城ライオンズクラブは昔を 6 回も重ねた歴史と伝統のある素晴らしいライオンズクラブであると重ねて敬意を表する次第であります。

この歴史ある 60 周年式典を一つの契機として仙台五城ライオンズクラブの益々のご発展と会員各位のご健勝ご多幸ご活躍をご祈念申し上げ、措辞ではあります但し祝辞に代えさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます



ライオンズクラブ国際協会
332-C 地区ガバナー

Ｌ 佐藤 久一郎

この度、仙台五城ライオンズクラブが結成 60 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

貴クラブに於かれましては 1964 年 10 月 4 日に国際本部より認証され、結成以来「五城」の名前の由来ともなった青葉城二の丸跡の公園清掃や、仙台名物である仙台七夕まつりでのチャリティ活動など精力的に奉仕活動へ取り組んでおられます。また、こうした活動で得た資金を経済的に困窮している母子家庭などへ奨学金という形で支援されるということで、このようなアクティビティの在り方に深く敬服いたしております。地域の方々との繋がりを強く持ち、長く、着実に奉仕活動を継続していく努力に敬意を表します。

伝統的なアクティビティのみならず、新しい奉仕のニーズにも応える姿勢にも潑刺とした貴クラブの気風を感じられます。

前年度、貴クラブをスポンサーとして仙台 ZUNDA ガールズ支部が発足されました。本年度、早速、仙台 ZUNDA ガールズ支部は仙台鹿野児童館・子育て支援クラブバンビさんへ協力し「鹿野会館 KANO カレー食堂」というアクティビティを実施されました。このアクティビティの目的は児童館へ集まる児童とその家族へ、カレーの炊き出しを行い、家庭への支援の一助となることです。調理したカレーは約 400 食ともなり、幼保児童から高校生、そしてその家族にお腹いっぱい召し上がっていただくことができました。

なかなか収まる兆しが見えない物価高騰の中で、子ども食堂などを中心とした困窮家庭への支援の需要は高まるばかりです。332-C 地区としても、地域他団体と結束したこの KANO カレー食堂のような活動には、今後とも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

私たちは常に歴史あるライオンズクラブ国際協会の一員としての自覚を持ち、「We Serve」のモットーのもと、所属する組織を支えていかなければなりません。ライオンズクラブの奉仕活動を通して誰かの人生をより豊かに、より良い方向へ変えていく役目を担っております。貴クラブの皆さまに、これから先も明るく元気にお力添えをお願いしたいと思います。

最後となりますが貴クラブ員の皆さまのご多幸とご健康を祈念し祝いの言葉とさせていただきます。

CN60周年記念大会 祝辞



宮城県知事

村井 嘉浩

このたび、仙台五城ライオンズクラブが創立60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴クラブにおかれましては、県内の高校生を対象とした奨学金事業の実施や継続して行っている早朝清掃等、未来を担う若者たちへの支援、地道な社会奉仕活動を通じて、長年にわたり地域の発展に多大な貢献をいただいていることに対しまして、心から敬意を表します。

県では、被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポートに加え、人口減少や少子高齢化、大規模化・多様化する自然災害への備え、依然として続く物価高騰などに対応するため、人口減少対策、DXによる変革みやぎの実現、半導体をはじめとする成長産業の誘致・育成に重点的に取り組み、県民一人一人が幸福を実感し、地域の活力を維持しながら持続的な発展を目指してまいります。

「We Serve われわれは奉仕する。」をモットーとして行われる貴クラブの様々な奉仕活動は、本県が目指す宮城の発展にとっても大変心強く、大きな力であると考えており、皆様のその熱い信念とともに、宮城の新時代を切り開くという強い思いで、全身全霊を傾けて取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、創立60周年を契機として、会員相互の連携を更に強め次なるステージに向けて躍進されるとともに、仙台五城ライオンズクラブの今後ますますの御発展と会員皆様の御活躍、御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



仙台市長

郡 和子

このたび、仙台五城ライオンズクラブが創立60周年という大きな節目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴クラブはこれまで、未来を担う若者への支援として県内の高校生を対象とした奨学金事業を行うなど、長きにわたり奉仕の精神に基づく数多くの活動に取り組み、地域社会に貢献してこられたことに、深く敬意を表するものでございます。

さて、現代社会は、情報化やグローバル化の急速な進展とともに、頻発する自然災害や感染症の流行など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しています。地域における課題は複雑化・多様化しており、これを解決するためには、様々な主体の皆さまの持てる知恵や力を十分に発揮いただくことがますます重要になってまいります。ここ仙台を、誰もが安心して暮らせる、活力と魅力にあふれるまちにしていくためにも、貴クラブにおかれましては、今後も本市の協働の良きパートナーとして、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、仙台五城ライオンズクラブの今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのメッセージとさせていただきます。



330-A 地区
東京新宿トライスター
ライオンズクラブ会長

L 矢口 実

ご祝辞

本日ここに、仙台五城ライオンズクラブがチャーターナイト60周年を迎えられましたこと、誠に喜ばしく思います。60年といえは人間で言えば還暦にあたり、これほど永きにわたり地域への社会奉仕活動を続けてこられましたことは、尊敬の念に堪えません。またこの60年の間には、単に地域社会に貢献するにとどまらず、332-C地区を取りまとめるガバナーを2名も輩出するという、まさに名門と呼ぶにふさわしいライオンズクラブであります。

私ども東京新宿トライスターライオンズクラブは、東京新宿東、東京早稲田、そして東京新宿御苑の3つのライオンズクラブが合併して2023年1月に結成されました。その前身である東京新宿東ライオンズクラブと貴クラブは、1973年に仙台ホテルに於いて姉妹提携を結び、以来51年余のお付き合いとなります。

その間には、未曾有の大災害である東日本大震災が発生し、貴クラブでも地域の復興を後押しすべく、様々な支援活動を行ったと聞いております。我がクラブでも、イチゴ農家を支援するお手伝いをしたことや、復興がようやく途に就いた頃にこの地を訪れたことなどを、先輩ライオンが懐かしそうに話をしておりました。

これからも貴クラブと我がクラブの友好が末永く続きますこと、また貴クラブが地域を支える社会奉仕団体として益々発展されますこと、そしてクラブメンバーの皆様のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



仙台宮城野 LC
元五城ライオンズメンバー

L 湯澤 典男

仙台五城 LC 昔の思い出、ひと言

仙台五城 LC の入会に誘われたのは故太田広茂ライオンで私が丁度40才の時です。五城さんが結成されてから2年程経っていました。しかし当時選考委員会が厳しく、正式に入会したのは翌年だったと思います。それでも入会予定者として毎回例会には出席していました。

例会場は仙台ホテルで午後6時からです。会場の奥には長机が置かれ、会長を中心に三役や前会長、副会長などクラブの重鎮がこちらを向いてずらりと座っていて、私等は例会場の末席で小さくなっていました。当時会員は必ずライオン帽をかぶり、ラベルボタンをつけていなければなりません。ライオン帽には他クラブの記念バッジ等も付けられ重さを競っているかのように見えました。各テーブルには、何か雰囲気にならないようなプラスチック製の青いザルが置かれていて、その中にドネーションやファインを入れます。ある例会の時、テールツイスターが今日はドネーション・オールビックでお願いしますとひと際高い声で皆に呼びかけました。初めての事なので恐る恐る1万円札を出そうとしたら、同席の先輩ライオンがビックとは千円の事なんだよと云われ、ちょっとビックリした懐かしい思い出もあります。

当時はゴルフよりボーリングが盛んで、クラブ間の交流戦もよく行われていました。五城さんも例外ではなく早速同好会が作られ、第一回戦が仙台近郊のあるボーリング場で開催されました。なんと入ったばかりの私が優勝トロフィーを頂く事になり、冷汗三斗の思いをしたことは今でも忘れられません。

CN60周年記念事業



宮城県赤十字血液センター様へ広報車 1 台寄贈

270万円

仙台こだま支部より 10 万円寄付



公益財団法人 東北大学アイバンク様へ

30万円寄贈



仙台第一警察犬訓練所様へ

30万円寄贈

総額

360万円

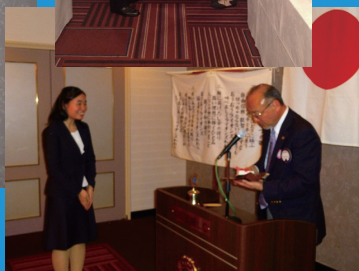
寄贈



能登半島災害支援募金

30万円寄贈

継続事業



奨学金支給



早朝清掃

仙台 ZUNDA ガールズ支部結成



「子どもも大人もお腹いっぱい！」

私たち「仙台 ZUNDA ガールズ」は、長年にわたり子育て支援のボランティア活動が続けてきた7名のメンバーで結成されました。2024年6月、仙台五城ライオンズクラブの支部として正式に発足し、地域の子どもたちやその家族を支える活動を行っています。

「仙台 ZUNDA ガールズ食堂」の取り組み

私たちは「子どもも大人もお腹いっぱい！」をスローガンに掲げ、2024年7月より月に一度「仙台 ZUNDA ガールズ食堂」を開催しています。「大盛りカレー」からはじまり、クリスマスには「ケーキと紅茶を添えた特別メニュー」、お正月にはつきたてのお餅を使った「おしるこ」や「ちらし寿司」、さらに「とん汁」など、季節に合わせて、月替わりの温かい食事を無料で提供しています。

食事を通じて地域の人々がつながる場となり、笑顔あふれるひとときを過ごして頂くことが私たちの願いです。

活動の広がりこれから

食堂には、ひとり親家庭のお子さんや高齢者、地域の皆さんが多く訪れ、毎回多くの笑顔に出会うことができます。ライオンズクラブの皆様をはじめ、多くの方々からの温かいご支援を受け、活動を継続することができています。

今後は、より多くの人にこの活動を知ってもらい、食堂の回数を増やすことや新たな支援の形を模索していきたいと考えています。地域の皆様とともに、支え合いの輪を広げていくことを願っています。これからも「仙台 ZUNDA ガールズ」は、誰もが安心して食事ができる環境を作り続けてまいります。

皆様の温かいご支援とご協力を、これからもよろしくお願いいたします。

仙台 ZUNDA ガールズ支部

【結成年月日】 2024年6月1日

【認証年月日】 2024年7月1日

【会 員 数】 7名

会長：佐藤富美子 幹事：戸部真奈美 会計：中村みどり

会員：梅津真理子 亀岡留美子 齊藤 希 高橋 展子

主催:仙台五城ライオンズクラブ
仙台ZUNDAガールズ支部
仙台ZUNDAガールズ食堂

ふんわり美味しい
おにぎり、豚汁を
お届けします！

おひとり様2個、先着100名様
メニュー: おにぎり・豚汁付き

大人も子どもも無料!!

令和7年
3月26日 水 10:30~13:00
場所:富沢市民センター 調理室
お問い合わせ先(佐藤):soratmys@gmail.com

大人も子どもも参加無料
仙台ZUNDAガールズ食堂
おしるこ食べにいでよ

★主催★
仙台五城ライオンズクラブ
仙台ZUNDAガールズ支部

限定
100食
無料

★お問合せ先★
佐藤:soratmys@gmail.com

1月13日(祝) 11:00~
場所:富沢市民センター 調理室

仙台ZUNDAガールズ食堂
Part2 限定100食 無料!
クリスマスケーキ
食べにいでよ!

2024年
12/25(水)
11:30~
無くなり次第
終了

【場所】 富沢市民センター
【主催】
仙台五城ライオンズクラブ
仙台ZUNDAガールズ支部
【お問合せ先】
佐藤:soratmys@gmail.com

★主催★仙台五城ライオンズクラブ
仙台ZUNDAガールズ支部
仙台ZUNDAガールズ食堂
ちらし寿司食べにいでよ!!

大人も子どもも無料

2月24日(祝) 11:00~
富沢市民センター 調理室

100食限定

★お問合せ先★
佐藤:soratmys@gmail.com

60 Years of History

60年の歩み



1. 初代会長 L 中村重夫

東北大学経済学部で現職教授で3期にわたり会長を務められて五城ライオンズクラブの礎を築いた。

2. 第10代会長 L 京道信一

東日本地区の標語作成委員で、現在入会式で使われる「ライオンズの誓い」をまとめられた。

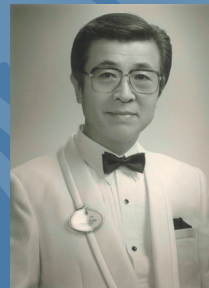
3. 五城ライオンズ輩出のガバナー

L 鈴木康彦 (1989年度)、L 馬場武雄 (1992年度)

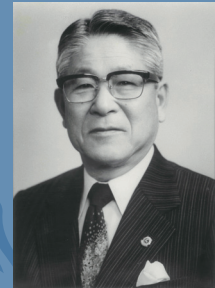
L 田畑英伍 (2010年度)、L 渡邊俊弥 (2023年度)

4. 主な事業

- 1963年 11月15日精養軒にて仙台五城ライオンズクラブ結成式。会員出席数40名、ビジター70名で盛大に行われた。
- 1963年 11月30日第1回目のアクティビティは通町小学校特殊学級ことばの教室へ教材用写真機を寄贈した。
- 1964年 10月9日仙台ホテルで開かれたチャーターナイトは会員出席数59名、ビジター248名、ゲスト19名で行われた。
- 1969年 C N 5周年青葉山護国神社の桜献木(総額80万円)。市民の憩いの場として「五城の杜」構想を発表し記念植樹を行った。
- 1974年 C N 10周年記念事業で救急自動車(総額300万円)1台を仙台市消防局へ寄贈した。また姉妹クラブと協同で東北大学アイバンクへ10万円を寄贈した。
- 1979年 C N 15周年に青葉城支倉常長像周辺早朝清掃開始。この労力奉仕活動は現在まで継続事業で続いている。仙台市環境美化運動「アレマキャンペーン」にも参加。
- 1984年 C N 20周年記念事業で仙台五城ライオンズクラブ奨学会が発足。第20代会長結城広一により母子家庭の経済的に恵まれない高校生を支援するため500万円の基金で開始した。また20年間のアクティビティ総額30,897,251円に達する。
- 1991年 障害者スポーツ大会支援事業開始。第29代会長三笠知也により宮城県いすスラローム大会を支援した。
- 1994年 C N 30周年記念事業で宮城県障害者スポーツ協会に50万円、スラローム仙台大会に30万円、1000ドル献金165万円を寄付した。
- 1996年 CN30を記念してシカゴライオンズクラブ国際本部を公式訪問した。



元ガバナー
故 鈴木康彦



元ガバナー
故 馬場武雄



元ガバナー
田畑英伍



元ガバナー
渡邊俊弥



- 2004年 C N 40周年記念事業で奨学生1名増員し5年間360万円、障害者スポーツ大会へ5年間150万円、宮城県警へユニホーム代50万円を寄付し、総額560万円のアクトを発表した。
- 2011年 東日本大震災被災者支援。石巻市立雄勝中学校へ卒業アルバム復刻進呈。仙台市東部地区被災3小学校への教材費支援。
- 2014年 C N 50周年記念事業で地下鉄東西線大町西公園前広場時計塔(150万円)寄贈。仙台市東部地区被災3小学校への副教材支給(50万円)支援、LCIFへ1800ドル献金を行った。
- 2022年 5月に今後の日本を背負って立つ次世代の人材育成を考えるシンポジウムを開催した。
- 2024年 6月仙台五城ライオンズクラブの支部クラブ「仙台ZUNDAガールズ支部」が誕生した。

5. 主な資金獲得事業

- 奨学金チャリティー「七夕撮影会」第41代会長L 渋川直次のもとL 三原征士郎の提案で開始。
- 奨学金チャリティー「食に関する講演会・食味会」第40代会長L 中田良平の発案で開始。

田畑英伍ライオンインタビュー

仙台五城ライオンズクラブの歴史を語る



田畑 英伍ライオン役職経歴

昭和 46 年 仙台五城ライオンズクラブ入会
平成 22 年 ライオンズクラブ国際協会
332-C 地区 ガバナー歴任
平成 23 年 ライオンズクラブ国際協会
332-C 地区 災害復興対策本部長歴任
平成 24 年 ライオンズクラブ国際協会
332 複合地区ガバナー協議会議長歴任

インタビュアー（L 千葉洋裕）：仙台五城ライオンズクラブに入った時のことを教えてください。

田畑ライオン：私は仙台五城ライオンズクラブに入会してから早くも 54 年が経ちました。この間に当クラブは多くの変遷を経てきましたが、常に「奉仕の精神」がその根底に流れておりました。仙台五城ライオンズクラブは 1964 年に設立され、当初から地域に対する奉仕活動に取り組むことを目的にしていました。

インタビュアー：設立当初の活動についてお聞かせください。

田畑ライオン：私が入会したのは 1970 年代で、メンバーは様々なバックグラウンドを持っていました。当時は地域の福祉活動や教育支援に力を入れ、多くのボランティアイベントを行いました。最初の大型プロジェクトである「消防車の寄贈」は特に印象に残っています。地域の災害救助支援に大きな影響を与え、今回、記念事業として再度日本赤十字社に広報車を寄贈することになったことは、一丸となって準備を進めてきたメンバーにとり、この先もとても誇らしい思い出となるでしょう。

インタビュアー：その他のプロジェクトについても教えてください。

田畑ライオン：その後「奨学金事業」を始め、これまで述べ 48 人の学生に約 3000 万円近くの贈与型奨学金の支援を行ってきました。月 1 度の「早朝清掃」とともに、この事業を継続的に行っています。2012 年に西公園に時計台の寄贈も行いました。この時計台は地域のシンボルとして多くの人に親しまれ、私たちの地域貢献の一環として今も多くの方々に利用されています。

インタビュアー：その後はどのような変化がありましたか？

田畑ライオン：1980 年代に入ると、私たちの活動は国際的な視野を持つようになり、シカゴにあるライオンズクラブの本部訪問などを通してライオンズクラブ国際協会との連携を強化し、海外のライオンズクラブとの交流も始まりました。

1990 年代以降は、社会情勢や地域のニーズに応じた活動が重視され、環境保護や青少年育成に関連したプロジェクトが増えました。また、私たちのクラブは 4 名のガバナーを輩出するなど、地域だけでなくライオンズクラブの歴史にも名を刻むことができました。私自身、それにより、リーダーシップや奉仕の精神を広める役割を果たすことができたことを誇りに思っています。

インタビュアー：54 年間の活動を振り返ると、どのように感じますか？

田畑ライオン：振り返ると、多くの仲間と出会い、喜びや苦難を分かち合ってきました。地域の皆さんとの絆も深まり、これからもライオンズの理念を大切にしながら、会員と共に新たな挑戦を続けていきたいと考えています。

インタビュアー：最後に、仙台五城ライオンズクラブのこれからの展望についてお聞かせください。

田畑ライオン：仙台五城ライオンズクラブは地域に根ざした奉仕団体として成長し続けると思います。次の世代のメンバーが加わることで、更なる革新と発展が期待されます。私自身も次の世代へとバトンを渡す準備を進めています。



CN60周年記念式典







仙台五城ライオンズクラブ 会員名簿

浅見 紀夫
(1971 年 10 月)
(株)一ノ蔵
相談役
清酒製造業

工藤 めぐみ
(2024 年 9 月)
Yoko
代表
飲食サービス業

佐々木 亨
(2005 年 6 月)
(株)魁設計
代表取締役
建築設計・建築設備設計
監理 航空灯火・港湾施設計画設計

遠藤 健
(2024 年 1 月)
(株)ファッションスタジオ
代表取締役
モデル、ヘアメイク
スタイリスト等の紹介業務

小池 罔夫
(1981 年 10 月)
サンキョーシャッター(株)
代表取締役
銅製建具・建築金物製造販売

清水 美奈子
(2014 年 11 月)
(株)仙台バンケットクリエイション
代表取締役会長
催事請負業

遠藤 裕子
(2015 年 8 月)
(株)大観楼
会長
飲食業

後藤 久幸
(1979 年 12 月)
宮城トヨタ自動車(株)
代表取締役会長
自動車販売

蘇武 秀行
(2023 年 4 月)
東北電力ネットワーク(株)
仙台電力センター所長
電気供給業

金田 恵子
(2023 年 9 月)
(有)ティー・シー・エム
代表取締役
介護・福祉

坂本 訓之
(2008 年 7 月)
桜岡大神宮
宮司
神職

田畑 英伍
(1971 年 3 月)
(有)田畑会計事務所
代表取締役会長
会計業務の受託及び指導

行場 弘美
(2024 年 1 月)
(株)未来プラン
宮城オフィス責任者
有機農薬園芸資材各種
開発・販売

佐々木 京子
(2025 年 1 月)
ジブラルタ生命保険(株)
金融保険業

田畑 英雄
(2024 年 1 月)
(有)田畑会計事務所
代表取締役社長
会計業務の受託及び指導

千葉 洋裕
(2024 年 1 月)
(株)lumiere ひまわり
事務主幹
児童福祉業

中田 いくみ
(2024 年 8 月)
(株)アールプラス
代表取締役
美容サロン

三笠 知也
(1975 年 3 月)
三笠知也司法書士事務所
所長
司法書士

豊口 寿郎
(2018 年 1 月)
(株)毎日広告社仙台
代表取締役
広告業

平河内 禎彦
(2012 年 8 月)
上杉サダデンタルオフィス
院長
歯科開業医

門馬 吉蔵
(2010 年 12 月)
(有)門馬商店
代表取締役
食肉・鶏肉・冷食卸業

中居 健一郎
(2012 年 1 月)
(株)中居堂
取締役専務
仏壇・仏具・神具
寺院仏具販売

松本 卓司
(2013 年 5 月)
(株)マイド
代表取締役
金融・保険サービス

結城 道広
(2012 年 8 月)
スマイル結城クリニック
院長
医療

中田 良平
(1996 年 7 月)
(株)マイ・アール・センター
代表取締役社長
広告代理業

三浦 宏
(2022 年 1 月)
(株)大徳
代表取締役
自動車部品販売

渡邊 俊弥
(1997 年 8 月)
(株)北星設計
代表取締役
建築設計企画・設計
監理・耐震診断・補強設計

仙台 ZUNDA ガールズ支部 会員名簿

佐藤 富美子 (2024 年 6 月) 支部会長 戸部 真奈美 (2024 年 6 月) 支部幹事 中村 みどり (2024 年 6 月) 支部会計
梅津 真理子 (2024 年 6 月) 亀岡 留美子 (2024 年 6 月) 斎藤 希 (2024 年 6 月) 高橋 展子 (2024 年 6 月)

仙台五城ライオンズクラブ CN60 周年記念実行委員会 名簿

大会名誉会長 L 渡邊 俊弥 大会会長 L 豊口 寿郎 大会実行委員長 L 門馬 吉蔵 L 浅見 紀夫 L 遠藤 健 L 金田 憲子
L 坂本 訓之 L 蘇武 秀行 L 田畑 英雄 L 千葉 洋裕 L 中居 健一郎 L 中田 いくみ L 松本 卓司 L 三浦 宏 L 結城 道広

編集後記

本誌は仙台五城ライオンズクラブ CN60 周年を記念し、これまでの歴史や歩みを振り返り、新たな試みを発表するために編纂されました。限られた紙面の中で、できる限り多くの出来事や思い出、CN60 当日の様子を詰め込もうと試みましたが、すべてを網羅するには至りませんでした。それでも、本誌を手にする皆様が懐かしい記憶を呼び起こし、未来への希望を抱ききっかけになれば幸いです。

この記念誌が仙台五城ライオンズクラブの新たな第一歩を踏み出す力となることを願うとともに、仙台五城ライオンズクラブの 60 年の歴史を創り上げてくださった偉大なすべてのライオンズメンバーに捧げます。

記念誌編集委員 L 中居 健一郎 L 千葉 洋裕



五城のいわれ

仙台城本丸のところは青葉が崎といって、むかし土伝千体を安置した虚空蔵堂があったので千体城と称し、のち千代城と改めたが、伊達政宗が慶長五（一六〇〇）年十二月二四日築城の縄張りにあたり、これを仙台と改め、城と城下市街の名とした。この地名は唐の韓翃の左記の詩にあるところから仙台城に五城、城下市街に五城楼下という雅名が生まれた。

（三原良吉による―「CN10周年誌」より転載）

同題仙遊観 同じく仙遊観に題す

仙臺初見五城樓 仙台 初めて見る 五城樓
風物凄凄宿雨収 風物 凄凄として 宿雨 収まる
山色遙連秦樹晚 山色 遙かに連なる 秦樹の晩
砧聲近報漢宮秋 砧声 近く報ず 漢宮の秋
疎松影落空壇淨 疎松 影落ちて 空壇淨く
細草春香小洞幽 細草 春香ぐわしくして 小洞幽かなり
何用別尋方外去 何ぞ用いん 別に方外を尋ねて去るを
人間亦自有丹丘 人間亦た自ら 丹丘 有り

クラブ名称については広瀬、萩、伊達などの案も出されたが、仙台市内で五番目のクラブでもあり、仙台的別名である「五城」という案が採択され「仙台五城」と決まった。

クラブの名は、スポンサークラブである仙台中央LCの故LC三品正直の発案である。（CN20に故LC京道信一が述べている。）

※三原良吉氏（郷土歴史家・旧制一中・早稲田専門部卒 河北新報社記者）

Club's Profile

結成年月日	1963 年 11 月 15 日
スポンサー	仙台・仙台中央ライオンズクラブ
結成番号	No.0663
チャーターメンバー	46 名
認証年月日	1964 年 10 月 9 日
例会日時	毎月第 2・第 4 水曜日 18:15 ~ 19:30
例会場	ホテルメトロポリタン仙台
例会場住所	〒980-8477 仙台市青葉区中央 1 丁目 1-1
例会場電話	022-267-2247
2025 年 2 月現在会員数	27 名（うち家族会員 12 名） / 支部 7 名
事務局住所	〒980-0881 仙台市青葉区一番町一丁目 8-10 京成壱番町ビル 402
事務局電話	022-262-6633
事務局 FAX	022-262-6634
事務局員名	池下 サオリ
ホームページ	http://www.sendaigojyou-lc.com/
E-mail	sendai-gojyo.lc@r3.dion.ne.jp